

出張医学教育FD(丸の内病院)

【日時】 平成26年10月10日(金) 18時15分～19時

【場所】 丸の内病院

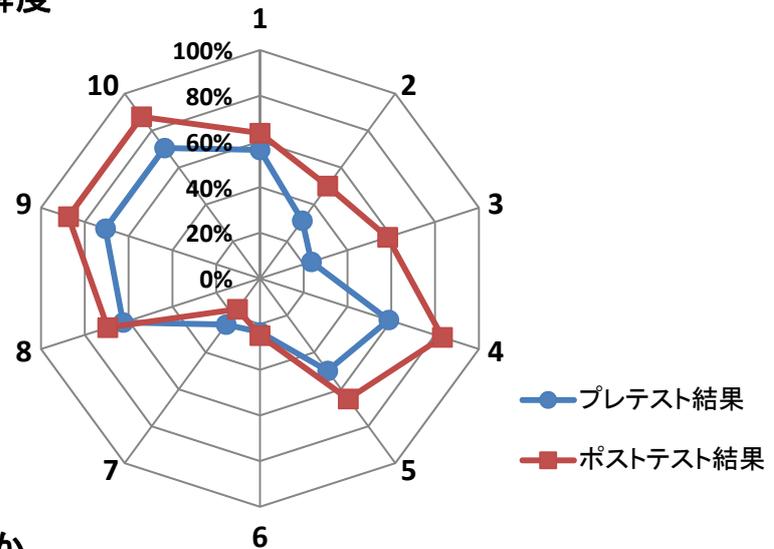
【参加人数】 25名

【内容】

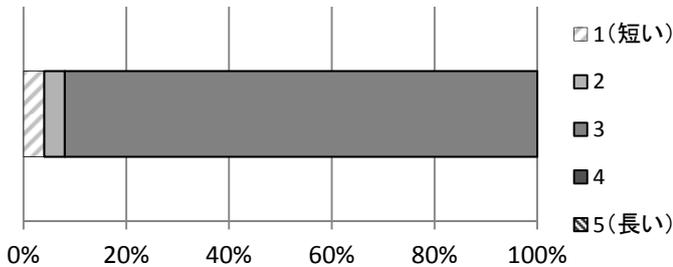
- 卒前クリニカルクラークシップの現状
 - ・ 見学型臨床実習(ポリクリ)と参加型臨床実習の違い等
- 信州大学における今後の臨床実習
 - ・ 150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
 - ・ 学生が行うことのできる医行為について
- DVD映像で見る参加型臨床実習



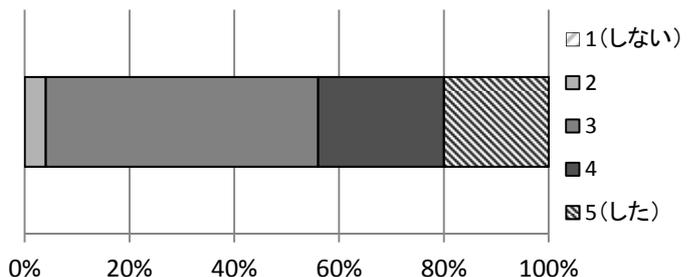
医学教育についての理解度



FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



参加者の意見

| FDで分かったこと | FDで疑問が残ったこと | ご意見 |
|--|------------------------------------|------------------------------------|
| ビデオがわかりやすかった。 | 何人くらいの学生を、いつ頃から受け入れるのか。 | コメディカルとはどう接していけばよいか、不安。 |
| アセスメントなどは言ってもらい、本人に考えさせていく方向で、指導。 | OSCEの前に臨床現場に出る？ | 学生実習を受けることで、職員の刺激となり、学びの機会が増えると思う。 |
| 研修医(学生)の指導は、持てる力を引き出す。医師としての判断力を養うためには、現場が重要だと思いました。 | 禁止事項について | 当院でできることを考えやすくなりました。 |
| 医学生の教育方法から、後輩の指導につなげられれば。 | 評価項目、医行為の例示以外のこと。 | |
| 学生の指導のコツ。学生指導の在り方。 | コメディカルとはどう接していけばよいか。 | |
| 学生のできる医行為。学生であるための制限のある点。 | 学生がどれくらいの知識レベルを持って実習に来るのか？ | |
| ポリクリとクリクラの違いがわかった。 | 4年後期以前までで、十分な教育がなされて実習に臨んでいただけるのか？ | |
| 現在の医学教育の内容について。今後の学生指導方法について。 | | |
| クリニカルクラークシップの意義。 | | |
| 医学生も実習を重視する方向にあるということ。それを実現しようとしているということ。 | | |
| 研修の範囲。 | | |
| 臨床実習に出る前に、必要と思われる試験が行われていること。 | | |
| 信大医学部生の臨床実習の改革内容について理解できた。 | | |
| 学生教育の内容が理解できた。指導の重要性。 | | |
| 過去の臨床実習との差。 | | |